

お互いに「ありがとう」と

言える社会に

ひとひと
男と女・ハーモニーフォーラム2008
〜支えあい、分かちあい、そして豊かに〜

11月23日、市中央生涯学習センター文化ホールで、県南地方総合事務所主催の「男と女・ハーモニーフォーラム2008」が開催されました。

男女共同参画社会を早期に実現するためには、職場・学校・地域・家庭などあらゆる分野で、県や市町村、事業者などが連携し積極的に男女共同参画の推進に取り組むことが重要です。このイベントは、県民や事業者などの理解と意識の高揚を図り、男女共同参画の推進に関する活動が積極的に行われることを目的として開催されたものです。

池田勝幸市長は「男女共同参画とは、社会の大きなキーワードとなっています。大勢の皆さんが、もう一步家庭や社会で男と女のバランスのありようを調整できるときつけになればいい」とあいさつしました。

「みんな生き生きいろいろ談義」



親しみのあるお話で参加者を魅了した荒木由美子さん

では、コーディネーターに「RE Learning」の秦野玲子さんをお迎えし、女性農業者の飯村恵子さんや株式会社スミ人事総務本部人事部マネージャーの横田宏宏さんなど、さまざまな分野で活躍中の4人をお迎えし、男女共同参画について自分たちが取り組んできたこと、どんなことから始めたらいいいのかなど、活発な意見交換の場となりました。

そして、荒木由美子さん(タレント・佐賀県出身)による「家族のハーモニー」感謝の気持ち言葉をしよう」と題した講演が行われました。荒木さんは、湯原昌幸さん(歌手・牛久市出身)との結婚を機に23歳で芸能界を引退し、結婚2週間後に病に倒れた義母を20年にわたって介護してきました。芸能界から引退したときのこと、湯原さんとの結婚生活と義母との壮絶な介護生活について、率直にそして優しくお話いただきました。

今は亡き義母の「夫婦はなめ合っても仲良くしなさい」という忘れられない言葉、義母は深い愛情の持ち主だったこと、介護をするに当たって覚えておきたい10カ条などもお話いただきました。荒木さんの気さくな人柄と経験に基づいた愛情あふれるお話に、会場は涙あり笑いあり、時には拍手がわき起こる温かな雰囲気になりました。

また、アトラクションでは、東洋大学附属牛久高等学校吹奏楽部によるアニメメドレーなどの演奏があり、会場内は大きな拍手に包まれました。



東洋大学附属牛久高等学校吹奏楽部の演奏



男女共同参画について話し合うパネリストたち

平成21年1月1日(992)号

発行・編集 / 牛久市市民活動課
〒300-1292 茨城県牛久市中央3丁目15番地1
☎029-873-2111 FAX029-873-2512

再生紙を使用しています。

環境に優しい大豆インキを使用しています。